

令和7年10月20日

令和6年度飲食料品製造業特定技能測定試験実施状況報告書

【飲食料品製造業分野】

(農林水産省)

1 試験実施概要

別紙1のとおり

2 試験実施主体

(1) 試験実施主体（選定方法及び選定理由を含む。）

一般社団法人外国人食品産業技能評価機構(以下「OTAFF」という。)

なお、飲食料品製造業特定技能測定試験実施要領(以下「試験実施要領」という。)1(2)に基づき、農林水産省が実施する公募により選定した。

(2) 委託先（委託する業務内容並びに選定方法及び選定理由を含む。）

国外試験の実施は、OTAFFが実施する公募により選定したプロメトリック株式会社(以下「プロメトリック社」という。)に委託。

3 試験問題作成体制

(1) 試験問題作成体制（試験委員等の人数、選定基準を含む。）

試験の問題作成に当たって、農林水産省は、食品衛生、日本語教育、作業安全等に係る有識者等からなる有識者委員会(以下「委員会」という。)を平成31年1月に設置した。委員については、利害関係者を除き、食品衛生、日本語教育、作業安全等に係る有識者について6名選任している。

(2) 試験問題作成手続

試験実施要領3から5で定める内容に基づき、農林水産省が作成した出題範囲案及び配点基準案並びに農林水産省が公募により選定した試験問題案を作成する民間委託事業者(OTAFF)が試験実施要領3から5で定める内容に基づき作成したものを、農林水産省が委員会に提出し、同委員会は試験問題案を確認の上、農林水産省に対し必要な助言を行った。

農林水産省は、同委員会の助言を受け、飲食料品製造業技能測定試験の出題範囲、配点基準、「飲食料品製造業特定技能1号技能測定試験問題」(以下

「1号試験問題」という。)及び「飲食料品製造業特定技能2号技能測定試験問題」(以下「2号試験問題」という。)を策定した。

なお、1号試験問題及び2号試験問題は、ともに非公表とした。

#### 4 試験申込方法

##### (1) 試験申込方法(申込手順、受験料の納付方法を含む。)

国内試験においては、OTAFFのウェブサイトで、受験者の情報を入力するマイページ登録を行い、その後、同ページ上から試験申込を行う仕組みとしている。受験料の納付は、クレジットカード決済、コンビニ決済、ペイジー決済のうち、試験申込者の選択により行っている。

国外試験においては、受験希望者がプロメトリック社のウェブサイトから申込みこととし、試験会場の定員の範囲内で先着順により試験申込を受け付けた。受験料の納付は、クレジットカード決済、eウォレット決済、バウチャー(インドネシア、フィリピンにおいて選択可)、オンラインバンキング(フィリピンにおいて選択可)のうち、試験申込者の選択により行っている。

##### (2) 定員を超える受験希望者がいた場合の対応

国内試験において定員を超える申込みがあった場合は、抽選を行っているが、受験機会の公平な提供の観点から、抽選に漏れた回数が多い申込者が優先される仕組みとしている。また、試験合格を前提に採用が内定している外国人又は在留資格を特定技能に変更することを前提に雇用の継続が予定されている外国人には、受験の席を確実に確保するようにしている。

##### (3) 受験者以外による申込みの可否

不可。ただし、2号試験は、2号特定技能外国人を雇用しようとする受入れ機関からの申込みとし、受験者の同意を経て申込み完了としている。

#### 5 試験実施体制

##### (1) 試験実施体制(試験監督員等の選任方法を含む。)

農林水産省が提供した試験問題を用いて、飲食料品製造業分野の試験を実施した。

国内試験は、マークシート方式で行い、試験会場の設営、受付、試験中の監視の業務を経験と能力のある事業者に請け負わせ、OTAFF職員が立会い、業務管理を行った。

国外試験は、CBT方式(コンピューター・ベースド・テスト方式)

で行い、アジア各国で CBT 試験を行っている国際的な専門事業者であるプロメトリック社に委託して試験を行った。

(2) 採点に係る体制（採点者等の選任方法を含む。）

OTAFF は、外部有識者で構成される試験管理委員会を設置し、採点結果、合否判定に公平性・公正性が確保されているかについて確認を受けるとともに、試験運営の改善に資するアドバイスを受ける体制を整備し運営した。

委員については、特定技能労働者の技能等の在り方に関する専門的で実務的な知識、技能若しくは学識経験を有する者、又は特定技能測定試験の運用その他の在り方に関する学識経験を有する者で特定技能測定試験の対象の業種の団体等の関係者でない者を OTAFF 理事長が 5 名選任している。

(3) 試験問題の管理体制

試験問題（試験問題案を含む。）は不正防止の観点から厳重な管理策を講じるとともに、試験終了後には試験問題を回収する等により、その管理を徹底している。

## 6 試験水準

### (1) 試験水準

1 号試験は、我が国の飲食料品製造業における実務経験年数の合計が平均 2 年程度（1～3 年程度）の者が、本試験に特化した学習用テキスト等を用いた準備を行わずに受験した場合に 5 割程度が合格する程度の水準とした。

2 号試験は、自らの判断により高度に専門的・技術的な業務を遂行できる、又は監督者として業務を統括しつつ、熟練した技能で業務を遂行できる者の中で、工程を管理する実務経験を 2 年以上有する者が、本試験に特化した学習用テキスト等を用いた準備を行わずに受験した場合に 3 割程度が合格する程度の水準とした。

### (2) 試験実施結果に関する評価

1 号試験は合格率が 48.1%と試験実施要領に定めた水準となっている。  
2 号試験は合格率が 56.3%と高い傾向にあるものの、受験者が公表している学習用テキスト等で学習していることに起因しており、試験実施要領に定める通りの技能水準を測定できていると考えている。

## 7 合否の基準（合格基準点等）

1号試験及び2号試験とも、学科試験及び実技試験の合計得点の65%以上を合格基準とした。

## 8 合否の通知方法

### (1) 国内試験

試験終了後、3週間以内を目途に OTAFF のウェブサイト上の受験者マイページの「受験履歴」に合否結果を掲載するとともに登録されたメールアドレスに通知した。

### (2) 国外試験

試験終了後、試験を実施したパソコン画面に試験結果を表示するとともに受験終了後5営業日以内に、プロメトリック社のウェブサイト上の受験者マイページに合否結果を掲載した。

## 9 試験結果の公表方法

### (1) 国内試験

試験終了後、試験結果（受験者数、合格者数及び合格率等）及び合格者の受験番号を OTAFF のウェブサイト上で公表したほか、令和6年度全体の試験実施状況を取りまとめて、同ウェブサイトに掲載した。

### (2) 国外試験

試験実施翌月に試験結果（受験者数、合格者数及び合格率等）を OTAFF のウェブサイト上で公表したほか、令和6年度全体の試験実施状況を取りまとめて、同ウェブサイトに掲載した。

## 10 合格証明書発行・交付手数料の有無及び方法

### (1) 合格証明書発行の有無及び方法

国内試験、国外試験とも受験者マイページに合格証明書を表示するとともにダウンロードできるようにしている。

### (2) 合格証明書交付手数料の有無及び徴収の方法

国内試験、国外試験とも合格証明書発行・交付のための手数料は受験料に含まれるため、徴収はしていない。

### (3) 手数料の額

なし。

11 試験の適切な運用に向けた取組状況（問題、不正行為等を未然防止する取組（試験実施主体に対する指導監督等を含む。）の内容、実施状況等を含む。）

（1）試験申込

試験案内に受験資格を記載した。また、試験案内に不正行為を例示するとともに、受験時に不正があった場合は、その試験を受けることを禁止し、試験の結果を取り消し、又は5年以内の期間を定めて、受験を受けることが出来なくなる旨を記載し、OTAFF のウェブサイトで公表している。

（2）受験者の本人確認

国内試験においては、替え玉受験を防止するため、本人確認書類（在留カード又はパスポート）と受験者名簿（氏名、国籍、生年月日、在留カード又はパスポートの番号、受験者の申請時の写真を掲載）と本人の顔を突合し、本人確認ができた人のみ受け付けた。

国外試験においては、替え玉受験を防止するため、本人確認書類（試験を実施した各国内で通常用いられている顔写真付きの書類）と受付で突合した後、本人の写真を試験当日に撮影し、それを合格証書の顔写真に用いることで、替え玉受験が出来ない仕組みとした。

（3）試験実施

国内試験においては、試験会場毎に、試験監督者を1名、監督補助員を受験者約30人に対して1人の割合で配置して、受験者の着席時に受験者と受験票（顔写真付き）で本人確認を行い、また、試験開始前にトイレに行った場合も再入室の際に受験票で本人確認を行った。さらに、スマートフォン等の電子端末の電源を切らせ、腕時計を外して鞆に入れさせて椅子の下に置かせるなど、不正発生防止の対応を行った。試験中は、監督補助員等が試験会場内を巡回し、不正が行われないか監視を行なった。

国外試験においては、試験室に入室前に、スマートフォン等の電子端末、腕時計も含め、所持品は全てロッカーに入れさせ、試験実施中は監視カメラで常時監視しつつ、監督員が室内を巡回し、不正が行われないよう監視を行った。

（4）合格通知、合格発表、合格証明書交付・発行

国内試験、国外試験ともに、受験者マイページに合格証明書を表示、ダウンロード可能な方式とした。

(5) 上記(4)以降(例:試験実施後の合格証明書の偽造等の不正防止に向けた取組を想定)

在留資格認定証明書交付申請の際に出入国在留管理庁職員が添付された合格証書の真偽を確認できるシステムを運用するとともに、偽造等の不正の疑いがある場合、OTAFFへ照会できる体制を整備している。もし不正が明らかとなった場合は、当該外国人の一定期間の受験禁止措置を講じている。

12 問題、不正行為事案発生状況

別紙2のとおり。

13 事業年度途中に、試験問題や試験実施体制等について、大きな改善を行った場合は、その改善内容、改善の必要性

特になし。

14 海外における試験実施国・試験実施回数及び国内における実施・試験実施回数の拡大に向けた取組内容や試験実施にあたっての今後の課題

1号試験は、海外においてはフィリピン及びインドネシアに加え、新たにベトナムで開始し、計13都市で実施した。国内においては地方都市を含め16都市で実施した。2号試験は、国内14都市で実施した。

海外における受験ニーズが高まっていることから、国外試験の実施月を増やす試み、並びにまだ試験実施に至っていない国においての実施に向けた検討を進める。

15 その他、試験実施全般に関して生じた問題とそれに対する改善措置

特になし。

## 【試験実施概要】

分野：飲食料品製造業分野

試験区分：飲食料品製造業特定技能 1 号技能測定試験

項番	試験実施場所		試験実施年月	合格発表日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	試験実施方法		試験実施言語	受験料
	国	都市						学科試験	実技試験		
1	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2024年5月	2024年6月10日	316	180	57.0%	CBT	判断等試験 (CBT)	日本語	1,700PHP
2	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン メダン	2024年5月	2024年6月10日	1,433	588	41.0%	CBT	判断等試験 (CBT)	日本語	450,000IDR
3	国内	東京都江東区 愛知県名古屋市 香川県高松市	2024年5月	2024年7月5日	3,930	1,713	43.6%	ペーパーテスト	判断等試験 (ペーパーテスト)	日本語	8,000円
4	国内	北海道札幌市 宮城県仙台市 茨城県水戸市 埼玉県春日部市 石川県金沢市 大阪府大阪市 広島県広島市 福岡県福岡市 宮崎県宮崎市 沖縄県那覇市	2024年6月	2024年7月5日	6,583	3,236	49.2%	ペーパーテスト	判断等試験 (ペーパーテスト)	日本語	8,000円
5	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2024年6月	2024年7月10日	602	406	67.4%	CBT	判断等試験 (CBT)	日本語	1,700PHP
6	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン メダン	2024年6月	2024年7月10日	2,246	867	38.6%	CBT	判断等試験 (CBT)	日本語	450,000IDR
7	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2024年7月	2024年8月13日	268	125	46.6%	CBT	判断等試験 (CBT)	日本語	1,700PHP

8	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン メダン	2024年7月	2024年8月13日	1,553	664	42.8%	CBT	判断等試験 (CBT)	日本語	450,000IDR
9	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ	2024年8月	2024年9月10日	5	1	20.0%	CBT	判断等試験 (CBT)	日本語	450,000IDR
10	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2024年10月	2024年11月11日	318	192	60.4%	CBT	判断等試験 (CBT)	日本語	1,700PHP
11	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン マナド メダン	2024年10月	2024年11月11日	3,298	1,723	52.2%	CBT	判断等試験 (CBT)	日本語	450,000IDR
12	国内	北海道札幌市 宮城県仙台市 茨城県水戸市 埼玉県春日部市 埼玉県さいたま市 東京都江東区 富山県富山市 愛知県名古屋市 大阪府大阪市 広島県広島市 香川県高松市 福岡県福岡市 鹿児島県鹿児島市 沖縄県那覇市	2024年10月	2024年11月12日	13,056	6,279	48.1%	ペーパーテスト	判断等試験 (ペーパーテスト)	日本語	8,000円
13	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2024年11月	2024年12月10日	261	120	46.0%	CBT	判断等試験 (CBT)	日本語	1,700PHP
14	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン マナド メダン	2024年11月	2024年12月10日	2,650	1,364	51.5%	CBT	判断等試験 (CBT)	日本語	450,000IDR

15	国内	北海道札幌市 宮城県仙台市 茨城県水戸市 埼玉県春日部市 埼玉県さいたま市 東京都江東区 愛知県名古屋市 大阪府大阪市 広島県広島市 香川県高松市 福岡県福岡市 鹿児島県鹿児島市 沖縄県那覇市	2025年1月	2025年2月5日	11,319	5,274	46.6%	ペーパーテスト	判断等試験（ペーパーテスト）	日本語	8,000円
16	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2025年2月	2025年3月10日	157	95	60.5%	CBT	判断等試験（CBT）	日本語	1,700PHP
17	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン マナド メダン	2025年2月	2025年3月10日	4,742	2,482	52.3%	CBT	判断等試験（CBT）	日本語	450,000IDR
18	ベトナム	ハノイ ホーチミン	2025年2月	2025年3月10日	396	192	48.5%	CBT	判断等試験（CBT）	日本語	890,000VND
19	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2025年3月	2025年4月10日	99	42	42.4%	CBT	判断等試験（CBT）	日本語	1,700PHP
20	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン マナド メダン	2025年3月	2025年4月10日	1,543	803	52.0%	CBT	判断等試験（CBT）	日本語	450,000IDR
22	ベトナム	ハノイ ホーチミン	2025年3月	2025年4月10日	517	241	46.6%	CBT	判断等試験（CBT）	日本語	890,000VND

## 【試験実施概要】

分野：飲食料品製造業分野

試験区分：飲食料品製造業特定技能2号技能測定試験

項番	試験実施場所		試験実施年月	合格発表日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	試験実施方法		試験実施言語	受験料
	国	都市						学科試験	実技試験		
1	国内	東京都江東区 愛知県名古屋市 香川県高松市	2024年5月	2024年7月5日	79	40	50.6%	ペーパーテスト	判断等試験(ペーパーテスト)	日本語	15,000円
2	国内	北海道札幌市 茨城県水戸市 埼玉県春日部市 石川県金沢市 大阪府大阪市 広島県広島市 福岡県福岡市 宮崎県宮崎市	2024年6月	2024年7月5日	102	54	52.9%	ペーパーテスト	判断等試験(ペーパーテスト)	日本語	15,000円
3	国内	北海道札幌市 宮城県仙台市 茨城県水戸市 埼玉県春日部市 東京都江東区 富山県富山市 愛知県名古屋市 大阪府大阪市 広島県広島市 香川県高松市 福岡県福岡市 鹿児島県鹿児島市 沖縄県那覇市	2024年10月	2024年11月12日	1,463	817	55.8%	ペーパーテスト	判断等試験(ペーパーテスト)	日本語	15,000円
4	国内	北海道札幌市 宮城県仙台市 茨城県水戸市 埼玉県春日部市 東京都江東区 愛知県名古屋市 大阪府大阪市 広島県広島市 香川県高松市 福岡県福岡市 鹿児島県鹿児島市 沖縄県那覇市	2025年1月	2025年2月5日	1,619	927	57.3%	ペーパーテスト	判断等試験(ペーパーテスト)	日本語	15,000円

## 【問題・不正行為事案発生状況等報告書】

分野：飲食料品製造業分野

試験区分：飲食料品製造業特定技能1号技能測定試験

項番	発生段階	事案の種類	問題等の内容及び対応（疑義事案含む）	問題を踏まえた改善策の内容、実施状況等	その他参考となる事項
1	(3) 試験実施	⑦その他	令和7年2月インドネシアで実施した1号試験において、当該受験者は試験前から周囲を気にするような怪しい動きがあったため監視員が注視していたところ、貸し出されたペンを使い左手首内側に日本語で“オーロラ”と書いているところ監視カメラで発見した。監視員が直ちに当該試験を受験不可とし退室させた。	監視員の試験室巡回、監視カメラによるモニターが成果を上げていることから、引き続き同方策の着実な実施を行う。	特になし